

一 般 質 問 通 告 書

令和3年11月12日

前
午10時 47分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年11月12日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 柴田 一雄

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)		一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題	
1	ふるさと納税の現状と課題について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	ふるさと納税の現状と課題について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策における多額の支出の増加とコロナ禍の影響による税収の減少の中、財政の逼迫が懸念される状況下におきましても、総務省の統計によりますと、「ふるさと納税」の利用者は年々増加しており、2020年度に全国の自治体が受け入れた「ふるさと納税」の寄付額は過去最高の6,724億円で前年を4割以上上回り、寄付件数も前年比1.5倍の3,488万件で過去最高だったとの発表がありました。総務省では全国の地方自治体において「ふるさと納税」の使い途や成果を明確化することや納税をしていただいた方との継続的な繋がりを持つことを推奨しており、結果としてリピーターの増加や自治体の知名度の向上、ファンを増やすことに成功している事例も多く公表されております。</p> <p>当市の現状と致しましては2015年に納税件数4万964件、納税金額6億5,353万円を最高に、昨年まで件数、金額共に減少の一途を辿り、昨年度は納税件数1万2,010件、納税金額は2億6,670万円と激減をしております。</p> <p>近隣市の事例としましても、コロナ禍に見舞われた昨年度においても掛川市は「ふるさと納税」の寄附額が過去最高の9億5,400万円を達成し、前年度に比べ約60%増加したとの発表があり、袋井市におきましても寄附額が過去最高を更新したとの報道がありました。</p> <p>昨今では「ふるさと納税」は納税から確定申告の控除申請手続きまでが簡単にスマートフォンのアプリで完了することもでき、給与所得者の納税対策や返礼品の楽しみとしても注目されておりますが、一方では新たな関係創出のきっかけづくり、更なる知名度の上昇、交流人口の増加やシティープロモーション、産業振興の発展へと繋がる行政の稼ぐ力の強化、新しい時代の税収としても考えていかなければなりません。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>「ふるさと納税」の当市における現状と課題、将来に向けての見通しを伺うことで「行政の稼ぐ力」の新たな取り組みを確認します。</p>	

(質問事項)

1. ふるさと納税の現状について、取り組みと課題について伺います。
2. 若年層の時代から郷土愛を高め、ふるさと納税を身近に感じられる郷土愛を育む教育の一環としてのふるさと納税について伺います。
3. 行政の稼ぐ力、シティープロモーションとして「ふるさと納税」を捉える事による業務における庁舎内の体制について伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和3年11月15日

前
午9時44分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年 11 月 15 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 神谷里枝



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括の質問答弁
番号	主 題		
1	母子健康手帳アプリの導入について		
2	公共施設再配置個別計画について		
3			
4			
5			

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	母子健康手帳アプリの導入について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>母子手帳は妊娠初期から子どもが小学校に入学するまで母親と子どもの健康を記録する大切な冊子です。コロナウイルス感染防止もあり、近頃では母子手帳アプリを導入し、自治体と連携することでより強化された子育て支援に取り組んでいる自治体が増加し始めています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>紙の母子手帳と母子手帳アプリの併用による湖西市内における子育て支援をより強化するため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市内における電子母子手帳の現状をお伺いします。 2. 母子手帳アプリの導入により、父親なども登録すれば、予防接種のスケジュール管理や通知、定期健診などの成長記録、地域情報の共有ができ、夫婦揃って子供の成長を見守ることが容易になります。 また、アプリにビデオチャット機能を加え、産後ケアや育児相談などの相談体制の強化を図ることもできると考えます。 この様にコロナウイルス感染の不安解消にも役立つ「こさい子育て応援アプリ」サービスを導入し、子育て支援を強化することについて、市のお考えをお伺いします。 	

番号	主 題
2	公共施設再配置個別計画について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

平成 30 年度より「湖西市（新）市民会館等複合施設検討市民会議」や「市民交流複合施設関係団体等意見交換会」が開催され、場所の選定案まで浮上していました。そして今年 3 月と 4 月の意見交換会で「財政難、借金を次世代に残したくない」などの理由からロードマップの見直し、簡単に言えば白紙撤回の状況になりました。真剣にご発言を頂いた皆様の心中は計り知れないものがあると推察いたします。そこへ 8 月 24 日と 10 月 20 日の全協にて「新消防庁舎の建設及び市役所機能との複合化の推進について」と「新居地域センターホール等改修計画(案)の進捗状況について」が提出されました。

(質問の目的)

湖西市における公共施設再配置個別計画についての方向性の確認を行い市民の理解協力を得るため。

(質問事項)

1. 第 1 期における評価をお伺いします。
2. 財政難の中、最優先で取り組まなければならない事業の概要（施設名や事業費、財源確保を含めた予算見通し）は。また、事業遂行にあたって、市民の理解を得るためにどのように周知しているのか。
3. 第 2 期個別計画で予定されている事業について、今後、内容が確定するまでにどのような経緯を経て決定され、公表されるのかお伺いします。
4. 今後は市役所庁舎の複合化や学校教育施設の統合など様々な公共施設での再配置の推進について検討されると思うが、どの様に意見集約を行うのか方針をお伺いします。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和3年11月15日

前
午11時20分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年11月15日

湖西市議会議長 馬場衛様

湖西市議会議員 加藤治司



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	骨髄ドナー登録推進について
2	競艇場の道路橋梁工事について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	骨髄ドナー登録推進について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>昨年(2020)年の3月と12月の定例会で、白血病ドナー支援制度の早期導入を依頼した。その発端は、ドナー登録されている湖西市の方が移植候補に選ばれたが、湖西市には支援制度がないので、他のドナーの為に早期に導入して欲しいとの要望である。その後、移植候補の方は、移植を実施されました。このような善意の方が全国でドナー登録されており、2021年9月時点で、約54.5万人・人口千人当たり9.58人である。静岡県の登録者数(18～54歳対象)は、9163人・人口千人当たり5.84人であり、今年2月から全国47都道府県で最下位の状況が続いている。年代別では、特に20歳代の登録者割合が全国平均の15.7%と比べて9.6%と低い。日本全体で移植希望者が約2千人・毎年の移植実施者は約1千人の状況である。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>ドナー支援制度の早期導入により、ドナー登録者増加の環境整備を要望する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 静岡県への要望「骨髄バンク登録助成制度の導入について」の、結果を伺う。 2. 県の回答の内容にかかわらず、湖西市のドナー支援制度を創設する予定があるかを伺う。 3. 湖西市として静岡県の全国千人当たりのドナー登録者数が全国最下位であるについての市の考えを伺う。 4. ドナー登録には、静岡県の研修を受けた登録説明員からの説明が必要だが、湖西市に在籍しているのか。又、ドナー登録者増加を推進する施策を検討しているのかを伺う。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

番号	主 題
2	競艇場の道路橋梁工事について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和2年12月に企業団から、道路法の改正に伴い橋梁の長寿命化の為、5年に1回の目視点検及び修繕が義務化されたが、国の改修補助金を受け取るには湖西市所有の構造物であることが必要である為、協議を重ねた結果、湖西市の財政上の負担増等の判断から現状どおり企業団が所有し湖西市を道路管理者にするとの説明があった。</p> <p>一方、道路橋梁に関しては、国道301号・在来線・新幹線を跨ぐ新居跨線橋を令和4年度に通行止めとし、令和5年から撤去工事を進める計画であると聞いている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>競艇場道路橋梁は企業団の所有だが、今の形になってから40年以上経過し、市民や利用者にとって生活道路になっている。撤去工事を進めるのなら、市民や利用者にも早めに周知をお願いします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 撤去工事における現状と方向性を伺う。 2. 撤去とする場合、市民や利用者への周知はどのように進めるのか伺う。 3. 湖西市は道路管理者となっているが、通勤渋滞等、今回の工事に関する課題の有無を伺う。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和3年 11月 15日

前
午11時 45分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年 11月 15日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 楠 浩幸 印
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 <input checked="" type="radio"/> 一括の質問答弁 <input type="radio"/>
番号	主 題
1	湖西市の産業政策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の産業政策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>新型コロナウイルス感染症が流行し2年が経過しようとしている。感染症対策としてワクチン接種はもとより、国県市は経済対策を講じているが、半導体不足も相まって、湖西市の景気は不透明感が強い。次年度の事業計画、予算の積算が行われている中で湖西市の産業政策に対する考えを伺いたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市がこれまで講じてきた新型コロナウイルス感染症対策の評価と今後の経済活性化に向けた産業施策についての考えを確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <p>《新型コロナの影響》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市内の新型コロナウイルス感染症の影響について産業の側面からどの様に分析しているか伺う。 2. 新型コロナウイルス感染症対策における評価について伺う。 事業者向け支援策の実績と評価はどうであったか、また個人向け支援策(PayPay)の実績と評価はどうであったか伺う。 <p>《給食センター≡産業政策》</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 学校給食施設整備基本計画を策定中であるが、実施方式の基本的な考え方を伺う。 4. 定性評価、定量評価においてもセンター方式を優位としているが、食育の推進、地産地消の充実が△評価となっている。評価の考え方を伺う。また、○にするための方策、コスト計算はどの様に行ったのか伺う。 5. 学校給食事業の方式としてPFI事業を前提としているようだがPFIのメリット、デメリットをどの様に把握しているのか、先進地では訴訟問題になるケースもある。リスクヘッジのための対応はどの様に考えているのか伺う。 6. 学校給食事業をセンター方式としても15年間で59.2億円の事業であることを鑑み、食材生産、運搬、調理、施設維持管理を湖西市の地域経済活性化を目的とした産業政策と位置づけ、庁内の連携や情報共有できる体制が必要と考える。市長がイニシアティブをとり専任チームを立ち上げてはどうか、市の考えを伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和3年 11月 15日

前
午11時 56分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年 11月 15日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	質問方式 一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	子宮頸がんワクチン定期接種の勧奨等について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	子宮頸がんワクチン定期接種の勧奨等について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>私は、2011（平成23）年12月議会一般質問で、当時任意接種で高額な自己負担があった子宮頸がんやヒブ（インフルエンザ菌b型）、小児用肺炎球菌のワクチン接種に対する補助金の質問をし、市民の負担を少なくして接種率を高めるべきと提案しました。その後、2013（H25）年に予防接種法が改正され、同年4月1日より子宮頸がん等のワクチン接種は定期接種となり、無料化され接種が促進されました。</p> <p>しかし、子宮頸がんなどの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンを対象年齢の小学6年生～高校1年生の女子に接種（半年の間に3回が標準）した後に全身の痛みやしびれなどの症状を訴える人が相次ぎ、わずか2カ月で2013年6月、個別に案内状を送って接種を促す積極的勧奨は中止されました。</p> <p>それ以来、私は子宮頸がんワクチン接種の推奨を提案したことが正しかったのか、気がかりで子宮頸がんに関する報道を注視してきました。2019年の新聞記事には「子宮頸がん増、進む若年化」の見出しで、東京大学医学部の中川恵一准教授が「社会の成熟と共に年齢調整死亡率は下がるものだが、肝臓がん、胃がんと同じ感染型のがんである子宮頸がんだけが aumentando なのは異常事態。HPVの問題が知られていないからだ。性行為の多様化により喉へのHPV感染で中咽頭がんが急増していることにも警鐘を鳴らす」とあり、「健康被害をめぐる訴訟が続いているが、千葉県いすみ市など一部の自治体は、ワクチンの周知に動き出した。」とありました。</p> <p>2020年10月初めには、スウェーデン・カロリンスカ研究所などのチームによる研究で、スウェーデン国内の女性167万人について調査した結果、10～30歳の間にはワクチン接種した人の子宮頸がん発症リスクは63%減少。17歳未満で接種した場合の発症リスクは88%、17～30歳の接種では53%発症リスクが低下している事がわかり、予防接種の効果が示され、ワクチン不要論を否定する結果が報じられました。</p> <p>そして、同じ昨年10月に厚労省はH25年6月の「ヒトパピローマウイル</p>	

ス感染症の定期接種の対応について（勧告）」の一部を改正し、HPV ワクチンの定期接種対象者に対して子宮頸がんやワクチンに関して個別通知で確実に知らせるように自治体にリーフレットを作成して依頼しており、正式な「積極的接種の勧奨」の再開を望む医師や団体の声が今年にかけて盛んに各紙で取り上げられています。

更に、本年 11 月 6 日には、イギリスのキングス・カレッジ・ロンドンなどの研究グループが国のがん登録のデータを基に接種した人たちと、接種していない人たちで子宮頸がんになるリスクを比較したところ、ワクチン接種した年齢が 12～13 歳だとリスクが 87%減少し、14～16 歳では 62%、16～18 歳でも 34%減少。一昨年時点の子宮頸がんになる人を 448 人減らせたと推定し、子宮頸がんの前段階になるリスクも年代ごとに 39～97%減らせたと発表しました。

そして、今月 12 日に厚労省の専門部会は、国内外でワクチンの安全性や有効性が確認できたとして、症状が出た人の相談体制強化などの準備を行い、来年度にも 8 年半中断していた対象者への個別通知をしての「積極的接種の勧奨」を再開することを了承したとの報道がありました。

この様な経過から、2013 年 6 月から原則無料で受けられる HPV ワクチン接種を知らないまま対象年齢を超えてしまった、接種機会を逃した現在高校 2 年～20 代半ばの女性への救済措置等を確認したく質問致します。

（質問の目的）

ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染から引き起こされる子宮頸がん、中咽頭がん等に有効なワクチン接種の体制を拡充し、予防できる癌から市民の生命を護りたい。

（質問事項）

1. 日本では、20～40 代を中心に毎年約 1 万人が子宮頸がんと診断され、約 3,000 人が亡くなっていると言われます。子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨が無くなった 8 年間に罹患者も死亡者数も増加しているとの報道がありました。湖西市での子宮頸がんの患者数と死亡者数の推移は如何か。

2. 昨年 10 月に厚労省から発信があり、県より子宮頸がんワクチン接種の対象者への実質的な接種勧奨を促されたと思いますが、対象者への周知や接種状況は。

3. 2013年6月から個別に通知しなかった、本来の子宮頸がんワクチン接種対象者は何人か。また、接種の機会を逃した方々への今後の無料接種、救済措置計画は。

4. HPVワクチン接種を周知して子宮頸がん等の罹患率を抑えるためには、市内12カ所の内科医院でワクチン接種を実施していることもあり、浜名医師会湖西医会等の協力を仰ぎ、かかりつけ医に啓蒙活動等協力いただくのは如何か。

5. 子宮頸がん等の原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）に関する正しい知識（性的接触により感染）とワクチン接種により、子宮頸がんや中咽頭がん、肛門がん、尖圭（せんけい）コンジローマなどの罹患率が下がることを知る機会、つまり性教育とセットでワクチン接種を周知することの重要性を医師等が提唱しています。小中学校で専門家による性教育を実施すべきと思いますが如何か。

6. ヒトパピローマウイルス（HPV：100種類以上の型がある）感染は、性的接触により男女間で感染を繰り返すため、男女にワクチン接種をすることで感染拡大を抑えることができます。日本では、2020年12月より男性が4つの型を防ぐ4価ワクチンが肛門がん等を防ぐ目的で承認されていますが任意接種で有料。英国や米国、オーストラリア等では男性も無料で我国も審議する可能性があるとの報道されていました。市の補助事業として男性にもワクチン接種を勧奨しては如何か。

7. 現在、国内では、HPVの内2つの型を防ぐ2価と前述の4価が女性のみ無料で受けられる定期接種の対象ですが、9つの型に有用な9価ワクチンが本年2月に発売され任意接種です。現在接種されている2価、4価ワクチンは、共に子宮頸がん予防率65%といわれますが、9価ワクチンは90%です。市の補助事業としては如何か。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること